

ニュースリリース 関係者各位

2012年6月21日

一般社団法人日本電子書籍出版社協会

日本電子書籍出版社協会（略称：電書協）

「EPUB3.0 日本語組版要望表」を公開

昨年10月に国際的に承認された電子書籍フォーマット EPUB3 は、世界的な標準フォーマットとして動き始めました。また、縦書きなどの日本語の表現も実現できることで、国内においても新しいフォーマットとして注目され、実用化への動きも進みつつあります。

当協会では、EPUB3 に対する調査を目的に、昨年暮にワーキンググループ（EPUB ビューア検証チーム）を立ち上げました。このチームの活動の過程で、EPUB3 には日本語の組版表現上足りていない点があることや、コンテンツの見え方を決定するビューア側の仕様によっても意図どおりに表示できない等の可能性があることが判ってまいりました。

こうした状況を受け、当協会では会員社に対し、「EPUB ビューア組版項目の優先順位」に関するアンケートを実施、EPUB ビューア上で出版社が必要とする日本語組版の要素項目を詳しく調査することといたしました。

具体的には、会員各社において①これが実装されないと既存の電子書籍の配信ができないもの、②今後制作予定の電子書籍づくりに支障をきたすもの、③将来的には必要となるもの、④現時点ではどちらでもよいもの、のいずれかを選択回答し、各社の回答を①4点②3点③2点のように点数化、最終的には会員41社全ての回答を会員社の要望として集計・集約いたしました。

このたび、この集計結果を「EPUB3.0 日本語組版要望表」としてまとめ、より汎用性の高い EPUB3 を普及することを目的に、下記当協会 HP にて公表いたします。要望表の設問項目中に用いられている組版項目の内容や実例を説明した「組版表現説明書」も付しておりますので、併せてご覧ください。

公表先 HP : <http://www.ebpaj.jp/press.html>

この要望表は、現時点での出版社の要望をまとめたものとして、日本語 EPUB に関わる関係者の皆様にぜひご覧いただきたく存じます。とりわけ EPUB3 の電子書籍コンテンツサービスやビューア設計・仕様の決定をされる際には、ぜひともご配慮をいただければ幸いです。

当協会では、電子書籍のフォーマットとして EPUB3 が普及する上で、出版社の配信するコンテンツの見え方が損なわれないための活動を、今後とも積極的に推進していく所存です。

- 「組版表現説明書」 <http://www.ebpaj.jp/images/kumihan.pdf>
- 「EPUB3.0 日本語組版要望表」 <http://www.ebpaj.jp/images/youbou.pdf>

以 上

----- 本件に関するお問い合わせ -----
下記宛にメールにてお願いいたします

E-mail : info@ebpaj.jp

日本電子書籍出版社協会について

電子書籍を制作・販売している出版社が一堂に会し、“読者の立場に立ち”“著作権者の権利保護を前提に”健全な業界の発展をめざし、2010年2月に設立した一般社団法人です。

〔協会名〕	一般社団法人 日本電子書籍出版社協会
〔所在地〕	東京都文京区音羽1-17-14 音羽YKビル8F
〔協会HP〕	http://www.ebpaj.jp/
〔設立〕	2010年2月1日
〔代表理事〕	講談社・野間省伸
〔参加出版社〕	朝日出版社、朝日新聞出版、アスキー・メディアワークス、NHK 出版、エンターブレイン、学研ホールディングス、角川書店、河出書房新社、幻冬舎、講談社、光文社、実業之日本社、集英社、主婦の友社、小学館、祥伝社、新潮社、すばる舎、世界文化社、ダイヤモンド社、大和書房、筑摩書房、中央公論新社、中経出版、東京書籍、東洋経済新報社、徳間書店、日本実業出版社、早川書房、阪急コミュニケーションズ、PHP研究所、富士見書房、扶桑社、双葉社、ぶんか社、文藝春秋、ポプラ社、マガジンハウス、丸善出版、メディアファクトリー、山と溪谷社(以上 41 社)